

帯広病院 21-4111

白樺医院 38-3500

ケアセンター白樺 41-1165

白樺在宅総合センター 41-1167

十勝勤医協 友の会ニュース

医療法人 十勝勤労者医療協会

帯広市西9条南11丁目1番地

0155-21-4718

発行責任者 片桐 正晃

URL: <http://www.tokachi-kin-ikyo.or.jp>E-mail: soshiki@tokachi-kin-ikyo.or.jp

医療講演

「かかりつけ医とかかりつけ病院～何かあったらここにある安心～」

道東勤医協釧路協立病院
澁谷 仁美 先生

「2025十勝勤医協健康フエスタ」が10月5日(日)十勝プラザで行われました。オープニングの帯広市郷土芸能平原太鼓さんの力強い演舞を皮切りに、合唱団エルデさんの美しい歌声とハーモニイ、津軽三味線日本民謡加藤流三絃会さんによる三味線の流麗で華やかな響き、アートファクトリーダンススタジオさんの子ども達による陽気で躍動感あふれる軽快なダンスが、ステージいっぱいを使って披露され、会場のお客さん達を魅了しました。

医療講演では、道東勤医協釧路協立病院内科医長、澁谷仁美医師が「かかりつけ医とかかりつけ病院」何かあったらここにある安心」をテーマに講演しました。「かかりつけ医・病院の役割は、体調だけでなく患者さんの暮らしや人生を長く見守ることによって、その人の生き方そのものに寄り添うことができること」と話され、「気軽に相談できる場を持つことは患者さん自身や家族の安心にもつながる」と、ご自身の診療場面でのエピソードも交えながら会場に語りかけました。講演を聴いた参加者からは、「こうした先生が勤医協にいる



友の会企画



帯広市郷土芸能平原太鼓



合唱団エルデ



津軽三味線加藤流三絃会



アートファクトリーダンススタジオ

と、やっぱり安心(一般参加者)」「私たちの原点を改めて振り返ることができると話だった(職員)」といった感想が聞かれ、患者さんと職員の日頃の関係性や医療活動を見つめ直す意義深い講演となりました。

フエスタのサブ会場企画では、各地域の友の会によるバザーや出し物、「ふまねつと」や「ボッチャ」などの体験交流の企画が催され、また、職員企画とし



リハビリ職員による体力測定コーナー

事務所移転のお知らせ

友の会連絡会事務所と十勝勤医協本部が下記の住所に移転します。

○友の会連絡会 新住所

住所：帯広市白樺16条西2丁目7番地

○十勝勤医協本部

住所：帯広市西9条南12丁目4番地

※詳しくは3面をご覧ください。

て、医療・介護部門による「医療・介護現場で働く笑顔パネル展」と「医療・介護のお仕事体験」、薬剤部門による「疑義照会体験」、栄養部門による「塩分どれくらい入っているの? コーナー」、診療技術部門による「モバイルエコー体験」など多様な企画が提供され、会場に訪れた来場者を楽しませていました。

聴診器

▼多くの人は「差別は悪い」「なくなるべきだ」と考えている。そう考える私たちは、社会のマジヨリティ側にいる。制度も文化もマジヨリティ向けに設計されており、マイノリティと向き合う場面では特権が生じる▼2025年の参院選では「日本人ファースト」を掲げた政党が躍進し、自民党総裁選でも「外国人政策の厳格化」が語られた。しかし、日本で暮らす外国人の多くは、すでに地域に根を張り、働き、納税し、社会の一部として生きている。そうした人々にとって、自分たちの存在が疑問視されるような主張には、違和感、あるいは恐怖を覚えるだろう▼先の選挙ではさらに「外国人が治安を悪化させている」「医療費を食いつぶしている」といった言説が広がったが、事実は異なる。外国人による刑法犯罪は2005年の43、622件をピークに、2024年には15、541件と約64%減少。また、国保加入者のうち外国人は4%だが、医療費給付は全体の1・39%に過ぎない。多くは働き盛りで健康な層に属し、税や保険料を納めることで社会保障の支え手にもなっている。つまり、広まった言説は事実に基づかないデマだ▼だが、事実だけでは差別の根は断てない。日常の中に潜む感情の揺らぎこそが、差別的な温床になる。たとえば、電車で隣に外国人が座ったとき、「怖い」と感じたことはないか。もちろん感じるだけではない。差別ではないが、その中には無知や排外主義的思考が潜んでいるかもしれない▼差別をなくす鍵は「共感」と「知性」だ。他者の苦しみを自分ごととして捉える力と、それを生む構造を理解する力。この二つが融合してこそ、差別に立ち向かう行動が生まれると思う。ただし、決してたやすい事ではない

つくろう、みんなで

十勝に「憲法九条の碑」を！

シリーズ⑥

新日本婦人の会は、平塚らいてうや、いわさきちひろら32人の呼びかけで1962年に創立された全国規模の女性団体です。

会の目的として、「・核戦争の危険から女性と子どもの生命を守ります。・憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。・生活上、女性の権利、子どものしあわせのために力を合わせます。・日本の独立と民主主義、女性の解放を待ちとります。・世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてます。」をきっかけ、平和とジェンダー平等への願いで行動する国連NGOです。

会員一人ひとりの「やりたい」「困った」という願いを大切に、小組(サ

ークル)活動が行われています。

また、学習講演会や「おしゃべりカフェ」などを開催し、会員の学びと交流の機会を提供しています。また、要求実現のため署名行動にも取り組み自治体や国へ要望・交渉を行っています。

こういうことができるのは平和だからこそであり、戦争になれば日常は壊され、要求運動どころではなくなります。現在日本では軍事費の増額、自衛隊の基地強硬化や、アメリカ軍と一体になっての合同訓練など戦争への準備が進められ、また、国会では改憲勢力が増え、9条改憲の動きもあります。戦争放棄をうたった憲法9条を守り、平和がずっと続くように、

憲法9条の碑を建て、憲法9条の大切さ、平和の大切さを知らせ、戦争させない国にすることが大切だと思います。

新日本婦人の会

帯広支部

支部長 柴田 恵子



長野県上田市の憲法九条の碑
戦没画学生慰霊美術館「無言館」
近くに2024年11月26日建立

地域とともに

友の会・職員合同地域訪問

9月25日(木)14時より、地域友の会の皆さんと職員との合同地域訪問が行われました。友の会から10名、職員7名の計17名が、7グループに分かれ37名の会員さん宅に訪問しました。今回は、いままです住所が分からなかった会員さんのお宅への訪問だったため、地図の住所が本当に会員さん宅なのかの確認作業も含め、署名のお願いや勤医協の宣伝、友の会ニュースの定期配布再開、大腸がんグッズのお渡しなどを精力的に行いました。訪問したお宅のうち21名の方と対話し、署名18筆、会員復活20名という結果となりました。直接会員さんと対話できたことや、改めて今後のつながりが再開できたことなど収穫のある訪問となりました。

参加した職員からは「鉄南地域がこんなに広いとは思っていません、現地に行かないと分からないことだった」「少ない世帯でニュースの宅配をしていただいていることに感謝しかない」「地域活動に参加出来ていなかったのでもよい機会となった」「職員と地域友の会世話人さんとのつながりが継続できた良いと思った」などの感想が寄せられました。友の会や地域の要求を受け止め、どのように安心して



住み続けられるまちづくりをすすめるかを友の会の方々とともに考え、友の会活動を事業所活動の中に位置づけ、日常業務とともに協同の取り組みを進めていきます。

ケアセンター
白樺 さくら

秋の外出レクリエーション

秋の葉が色づく前ですが、入所者様4名、そのご家族3名と一緒にグリーンパークに行きました。晴天に恵まれ、職員は上着がいらなくらいの暖かさでした。風景を見ながら散歩しているとリスが顔を出したり、散歩している子犬を見たり入所者様はいつも以上に笑顔が輝いていました。ご家族も「外出する機会を作って頂きありがたい」ととても喜んでいただけました。このような施設で生活している利用者様とご家族様の架け橋になる機会を増やしていきたいと思いました。

2階療養棟 井口 陽菜



帯広病院

署名のチカラで改悪阻止実現を!!



国による医療・介護に就事する現場から発信し、声を上げ、政府に届けなければなりません。医療では、今回取り組んでいる署名にもある通り、地域の医療(病院)の存続が危ぶまれており待ったなしの状況です。

介護では、政府はこの秋から年末にかけて制度改悪の方針を固めようとしています。そうした動きに歯止めをかけながら、政府の経済対策(2025年度補正予算)で訪問介護の基本報酬引き下げを撤回させることなどを強く求

めていく必要があります。また、来年4月の介護報酬期中改定を目指した予算の積み上げを求めていくことも、これからの大きな課題の一つです。関係団体の調査では、「厚労省と財務省の閣僚折衝で、エビデンスが得られれば期中でも人員配置基準の見直しの検討を行う」との話も出ています。抜本改革を求め、わたしたち(現場)の実情を確実に伝え、必要な措置(要求)の実現に結び付けましょう!

帯広病院では、今大運動にて医療機関に「地域住民の医療を受ける権利を保障するために医療機関の維持存続への支援を求める請願書」を約1000箇所920枚、取引業者さんに「上記署名と大軍拡反対請願署名」を23箇所230枚、患者さん約500名には「地域住民の医療を求める署名」と「介護保険制度の抜本改善、大幅な処遇改善を求める請願署名」を送付しています。膨大な発送作業は受付業務を担う3名がすべて行い、取り組みに大きな力を貸してくれました。

連載企画…「患者協働」で築く安心・安全な医療

第4回 地域医療を守るために

―報酬改定の必要性が求められる現場―

「このままでは、ある日突然病院がなくなります」日本医師会をはじめとした6病院・団体が、地域医療の崩壊を衝撃的なポスターとともに訴えた。地域の診療所や中小病院が、いま静かに「危機」を迎えている。高齢化の進行により医療需要は増しているものの、医療従事者の確保や物価高騰、エネルギー費の上昇が重くのしかかり、病院の経営環境は年々厳しさを増している。特に地方では、医師や看護師の不足が慢性化し、採用コストの上昇や外注費の増加が

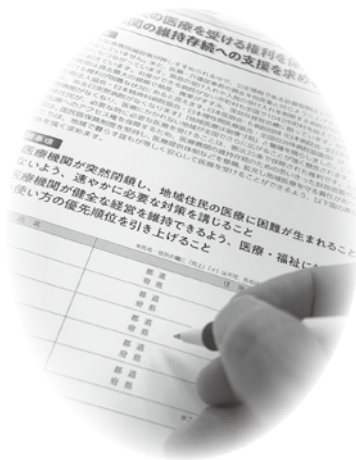
経営を圧迫。これまで地域の「最後の砦」として医療を支えてきた医療機関が、存続の危機に瀕している。

その背景にあるのが、医療報酬制度の硬直性。診療報酬は全国一律で定められており、地域差や医療機関の実情が十分に反映されていない。近年の報酬改定では、効率化や在宅移行の促進が重視される一方、地域での慢性期・外来医療を支える医療機関の（診療報酬という意味での）評価は十分とは言えないと言わざるを得ない。とくに人件費や光熱費、昨今の物価高騰による費用増加の上昇分が反映されないまま据え置かれていく項目が多く、実質的な減収となっているケースも少なくない。



このままでは、採算の合わない診療科や地域医療機関の撤退が相次ぎ、住民が必要な医療を受けられなくなるおそれがある。実際、地方では「出産できる病院がない」「総合病院の診療科が減った」「夜間診療がなくなった」といった声が増えており、

求められるのは、単なる一律の報酬引き上げではない。地域の実情に即した評価軸の導入や、地域医療を維持するための加算の拡充、医療・介護連携への支援など、持続可能な制度設計だ。医療は単なる「採算事業」ではなく、地域の安心を支える社会インフラ。医療現場の疲弊を放置すれば、そのしわ寄せは必ず地域住民に返ってくる。いまこそ、現場の声に耳を傾け、地域医療を守るための報酬改定を実現する時。国が掲げる「地域包括ケア」の理念を絵に描いた餅にしないためにも、持続可能な医療提供体制の再構築が急務である。医療介護にかける予算を抑制し続けてきた政治に「待った」をかけるため、われわれの民意を署名に託そう！



健康相談会のご案内

どなたでもお気軽にご参加下さい。

友の会	テーマ	日時	場所	担当・連絡先
音更西	摂食嚥下機能が気になる時はどうするの？	11/7(金)14時	北蘭老人憩の家	真田 若子 090-9512-5314
池田	膝痛・腰痛・肩痛体操	11/13(木)10時	多世代交流施設ふらっと	岩本 正雄 070-8530-5405
栄	よく眠れていますか？～人生1/3の睡眠について考える～	11/19(水)14時30分	栄福祉センター	佐藤 久輝 33-6399
札内東	転ばぬ先の杖	11/20(木)14時30分	春日近隣センター	鈴木志摩子 56-6757

友の会行事案内

友の会	内容	日時	時間	場所	担当・連絡先
西南	ふまねっと	11/6(木)、11/20(木)	10時30分	中央福祉センター	麻生 恵子 22-1613
	ふまねっと	11/11、18、25(火)	10時～12時	西福祉センター	野坂 潤子 080-4046-2729
開西	カラオケ	11/14(金)	11時～	ドン・キホーテうたや	岡本 顕 090-6446-5521
	卓球	毎週月曜日	13時～	コスモス福祉センター	
	ふまねっと	11/1(土)、11/15(土)	9時30分～	西10号会館	石澤 英子 090-5988-6400

友の会	内容	日時	時間	場所	担当・連絡先
上士幌	ふまねっと	11/12(水)	10時30分	ふれあい	山本和子 01564-2-3089
	ふまねっと	11/8(土)	10時30分	7区北地区集会場	
	ふまねっと	11/10(月)	10時30分	11区西地区集会場	
	ふまねっと	11/20(木)	10時30分	南地区集会場	
	ふまねっと	11/11(火)	10時30分	ふれあいプラザ火曜日コース	
	健康広場	11/18(火)	10時～	ふれあいプラザ火曜日コース研修室	
札内西	室内スポーツ交流	11/26(水)	10時30分	あかしあ近隣センター	岡崎 節子 56-4432
札内東	ふまねっと	11/20(木)	13時30分～	春日近隣センター	札内東と合同 鈴木志摩子 56-6757
	ふまねっと	11/20(木)	13時30分～	春日近隣センター	
音更北	ふまねっと	11/8(土)	10時～11時半	音更総合福祉センター	酒井 知子 42-3387
新緑	ふまねっと	11/27(木)	13時～	緑ヶ丘福祉センター	瘧師 光枝 090-7650-5517
芽室	笑いヨガ	11/4、18(火)	13時30分～	芽室中央公民館	日笠 好香 62-5983
栄	ふまねっと	11/19(水)	13時～	栄福祉センター	本川 栄子 34-6547

※日時については変更になる場合がございます。詳しくは担当連絡先までお問い合わせください。
※参加費がかかる場合がございますので、ご了承下さい。

事務所移転のお知らせ

平素より格別のご支援ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。
さて、このたび11月4日(火)より、友の会連絡会の事務局と法人本部を、下記住所に移転することとなりましたのでご案内申し上げます。引き続き、安心して暮らし続けられるまちづくりの事業に邁進してまいりますので、今後とも皆様のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。なお、電話番号も変更となりますのでご承知いただきますようお願い申し上げます。
・友の会連絡会 新事務所、新電話番号
住所：帯広市白樺16条西2丁目7番地 電話番号0155-65-5670
(十勝勤医協白樺医院の西隣の建物) Fax番号0155-65-5671

・十勝勤医協本部
住所：帯広市西9条南12丁目4番地 電話番号0155-21-4111
Fax番号0155-27-1168
(十勝勤医協帯広病院内に移転)(十勝勤医協帯広病院と同じ番号)
なお、移転に伴い、「友の会員管理・友の会事務局業務・友の会ニュース関連実務」に関する事務所と、「協力資金・建設基金・募金の取り扱い窓口」が別々になります。あわせて、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。
・「友の会員管理・友の会事務局・友の会ニュース関連」に関する実務や諸連絡
→ 友の会連絡会 新事務所(白樺16条西2丁目7番地)
・「協力資金・建設基金・募金の取り扱い窓口」
→ 十勝勤医協本部 新住所
(帯広市西9条南12丁目4番地 十勝勤医協帯広病院内)

友の会連絡会コーナー 〇二五・二・四二四四
生き生き広場

開西友の会

布きりと健康相談会

開西友の会では、恒例になった、年に一度の「布きり」を、コスモス福祉センターで9月13日に10名の参加で行いました。布きり作業が終わって出来上がった布は白樺ケアセンターにすぐに届けました。作業後昼食をとり、13時から「デスコ」で



楽しいひとときを過ごさせていただきました。14

時からは、あじさい薬局の薬剤師さんよりサプリメントについてお話をいただきました。勉強会をしました。あつという間の充実した一日となりました。この日に合わせて堂畑さん、竹中さんよりたくさんのお話をいただきました。ありがとうございます。

開西友の会 岡本 顕

白樺友の会

白樺友の会世話人会を開催
白樺友の会では9月27日に、コロナ禍などでできていなかった世話人会を3年ぶりに開催しま

【答 え】〇〇〇〇

(漢字でご記入ください)

【応募方法】

次の□に漢字を入れて熟語をつくり、①②③④次の□に漢字を入れて熟語をつくり、□の漢字を並べ替え○の中に入れて、答えを完成させてください。
出題者はペンネーム・ノリリンさん(帯広市)です。
【ヒント】 四文字の熟語です。〇〇〇〇を守れ!

区 外 □ 内 土 □ 面 球

音 □ 借

養 □ 師

加 □ 育 名 □ 学

治 □ 獣

【宛 先】

○郵 送

〒080-0051

帯広市白樺16条西2丁目

7番地 十勝勤労者医療

協会 友の会ニュース編

集部

○メール

soshiki@tokachi-kin-

kyo.or.jp

【賞 品】

抽選で10の方に、千円分の図書カードをお送りします。

【締め切り】

2025年11月20日(当日消印有効)。発表は第450号(2026年1月号)紙上です。

【第496号の当選者】

答えは「台風一過」でした。応募総数74通、正解者73通の中から抽選により、次の10の方が当選しました。(敬称略)

新目 典子、腰山 真理

紺野 由紀、澤村 豊

竹内 黎子(帯広市)

高岡 章吾(音更町)

高橋 邦治(芽室町)

佐藤 一郎(土幌町)

能登美由紀(新得町)

三宅 京子(足寄町)

りますよ」と差し出すと大変喜ばれます、と『元気』増誌に貢献していることが話され、元氣をもらいました。

【白樺友の会 武井 純子】



読者の声

友の会ニュースで、認知症はリスク要因を取り除けば45%予防が可能とのこと。LDLコレステロール値が少し高めなので、正常化を目指した生活を心がけたいです。

帯広市 竹内 黎子さん

朝夕は虫(カントン)の鳴き声というか羽をすり合わせている音なのか、よく聞こえ、秋の予感がしますが、日中はまだまだ蒸し暑く本場の秋はいつ?という感じです。

帯広市 井口とみ子さん

今年の夏も大変厳しい暑さが続きました。帯広市ではなんと38℃越え、私の幼少期には考えられなかつた気温です。これまでは扇風機で過して

きました。が、やはりエアコンが必要かと熟慮しています。

帯広市 金田ツネ子さん

いつも楽しく拝読しております。

大樹町 八木 竹一さん

祖父が白寿を迎え、親族そろって楽しいひと時を過ごしました。祖父の戦争体験を知り、3人の息子に平和のバトンを渡さなければと改めて思いました。

新得町 渡邊 幸絵さん

捨ててしまえばただのゴミ、そんなリングプルを集めると車椅子というお宝にいつか変身し、車椅子を必要とするご自分の力になれるのですね。リングプルを集めることでしたら、非力な私にもできそうな気がします。ぜひ協力させていただきます。たく思います。

芽室町 西沼 幾代さん

近視、乱視、老眼の八十八歳です。お世話になつて学び、感謝しています。

幕別町 高間ヨシエさん

9月となり涼しくなりました。扇風機とミニクーラーを使って涼を求めているのがうその様です。涼しくなつてこれからパークがしやすくなります。うれしいなー!

北広島市 坂本ミサ子さん

各友の会連絡先

- 【音更東】 守屋 敏紀 〇五五・三二二・三〇八四
- 【音更西】 神長 基子 〇九〇・八八〇・六二二・三三三
- 【音更南】 野口 清子 〇一五・三二二・七二二
- 【音更北】 中嶋 晴子 〇一五・四二二・二九九
- 【土 幌】 和田 鶴三 〇一五・六四一・七四四・三三
- 【土 幌】 山本 政俊 〇一五・六四一・三〇八九
- 【新 得】 土山 武志 〇一五・六四一・四七二・一六
- 【清水】 田中けい子 〇一五・六四一・三〇五六
- 【鹿 追】 武田 耕次 〇一五・六四一・二七六
- 【芽 室】 岡田 節子 〇一五・六四一・七三六
- 【更 別】 大津寿美香 〇一五・六四一・八三八七
- 【大 樹】 有岡千恵子 〇一五・八二二・四三三〇
- 【尾 前】 前崎 茂 〇一五・八二二・四三三〇
- 【幕 別】 小林 正明 〇一五・五五五・五二二
- 【札内東】 鈴木志摩子 〇一五・五五五・六七七
- 【札内西】 岡崎 節子 〇一五・五五五・四四三
- 【忠 類】 増田萬里子 〇一五・五五五・二六〇七
- 【豊 頃】 岩井 明 〇一五・五五五・二六三四
- 【池 田】 岩本 正雄 〇一五・五五五・二五七五
- 【本 別】 広川 雪子 〇九〇・三二二・五二二
- 【足 寄】 田利美智子 〇一五・六二二・四〇〇〇
- 【陸 別】 黒沼 明美 〇一五・六二二・二六六七
- 【東 川】 山口久美子 〇一五・五七七・七二二
- 【柏 木】 若月 玲子 〇九〇・三三三・八〇四七
- 【光 南】 村上 隆久 〇一五・五五五・八八八
- 【鉄 南】 牧野美智子 〇一五・五五五・八六五
- 【中 央】 吉沢 澄子 〇一五・五五五・八三九
- 【栄 一】 佐藤 久輝 〇一五・五五五・八三九
- 【開 西】 岡本 顕 〇九〇・六四四・六五二・二二
- 【西 帯広】 野坂 潤子 〇一五・五五五・二七二九
- 【西 南】 麻生 恵子 〇一五・五五五・二二二・一六三
- 【緑ヶ丘】 堀田 省悟 〇一五・五五五・一六五〇
- 【白 樺】 武井 純子 〇一五・五五五・二二二・二四四
- 【新 緑】 齋藤 光枝 〇九〇・七五五・〇一五・五五五
- 【柏 林台】 横塚恵利子 〇一五・五五五・〇一五・五五五
- 【緑 西】 村上久美子 〇一五・五五五・〇一五・五五五
- 【稲田北】 平 麗子 〇一五・五五五・〇一五・五五五
- 【稲田南】 藤田 功 〇一五・五五五・〇一五・五五五
- 【川 西】 原 正子 〇一五・五五五・〇一五・五五五
- 【大 正】 岡山 幹男 〇一五・五五五・〇一五・五五五